

**タイトル : PLIN-View Pro (LIN モニター) の操作**

文書バージョン : 1.0

作成日 : 2021 年 1 月 7 日



メーカー : PEAK-System  
製品 : PLIN-View Pro  
          PLIN-USB (IPEH-004052), PCAN-USB Pro FD (IPEH-004061)  
OS : Windows 10, 8.1 (32-bit / 64-bit)

**ガイロジック株式会社**  
〒180-0004  
東京都武蔵野市吉祥寺本町 2-5-11  
松栄ビル 5 階  
Tel 0422-26-8211 Fax 0422-26-8212  
<http://www.gailogic.co.jp>

## 目 次

1. はじめに .....	2
2. 接続 .....	2
3. 起動 .....	2
4. LIN フレームの受信 .....	3
5. LIN フレームの送信 .....	4
6. トレース .....	5
7. ステータスバー .....	6
8. メニューコマンド .....	6
付録 A. インストール手順 .....	8
付録 B. PLIN-API (Windows ソフトウェア開発) .....	11
付録 C. USB インターフェイスの取り外し .....	11
付録 D. ステータス LED .....	11

## 1. はじめに

PLIN-View Pro (LIN モニター) の簡単な操作例を説明します。

下記の URL より LIN ドライバ、PLIN-View Pro をダウンロード

<https://www.peak-system.com/quick/DrvSetup>

最初に、「付録 A. インストール手順」を読み、LIN ドライバ、PLIN-View Pro のインストールを行ってください。

## 2. 接続

PLIN-USB または PCAN-USB Pro FD を PC に接続し、LIN バスと接続します。

電源 (GND: 5 & 6 ピン、電源: 9 ピン)、LIN (4 ピン) の接続が必要です。

電源の条件

- PLIN-USB : DC 6 ~ 28 V
- PCAN-USB Pro FD : DC 8 ~ 18 V

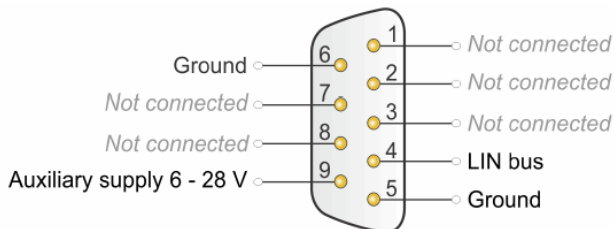


図 2-1 PLIN-USB

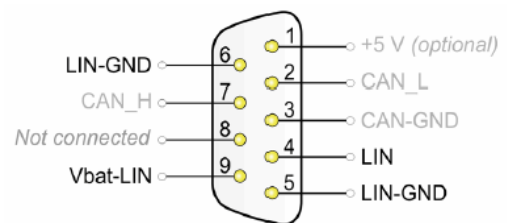


図 2-2 PCAN-USB Pro FD

## 3. 起動

[PEAK-System Tools] – [PLIN-View Pro] で起動します (図 3-1 参照)。

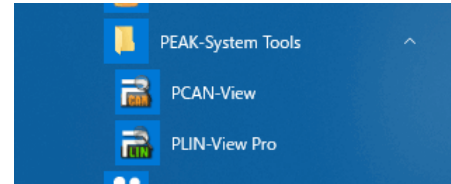


図 3-1

Connect to ... ウィンドウが表示されます (図 3-2 参照)。

**Hardware** に表示されているハードウェアを選択します。

(図 3-2 ① の例では、[PLIN-USB 1FEh 1 1 None])

**Mode** から、Master / Slave の操作モードを選択します。

(マスター/スレーブのどちらかのモードを設定。② 参照)

**Bit rate** からビットレートを選択します。

(2400/9600/10400/19200 から選択。③ 参照)

**OK** を押します

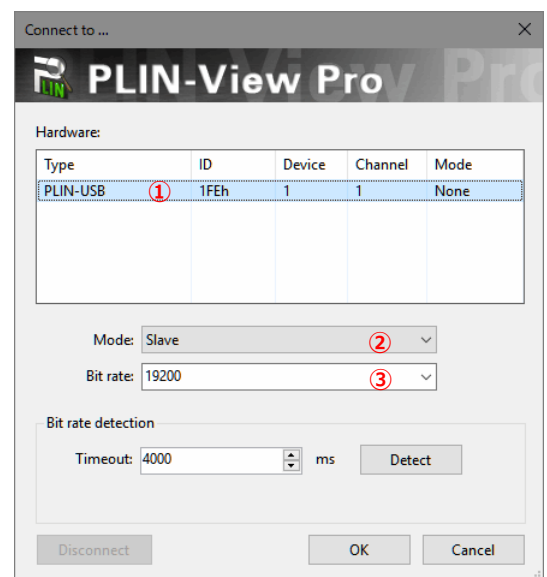


図 3-2

**<備考>**

PCAN-USB Pro FD は、LIN が 2ch 表示されます (図 3-3 参照)。使用する Channel を選択して設定します。LIN を 2ch 使用する場合は、2 個の PLIN-View Pro を開きます。

LIN バスは、1 個の LIN マスターと 1 個以上の LIN スレーブで構成されます。

Master に設定した場合は Receive/Transmit、Slave に設定した場合は Receive/Publisher の画面となります。

単純な LIN モニターとして使用するには、Mode: Slave モードで、Bit rate: に LIN バスのビットレートを設定します。

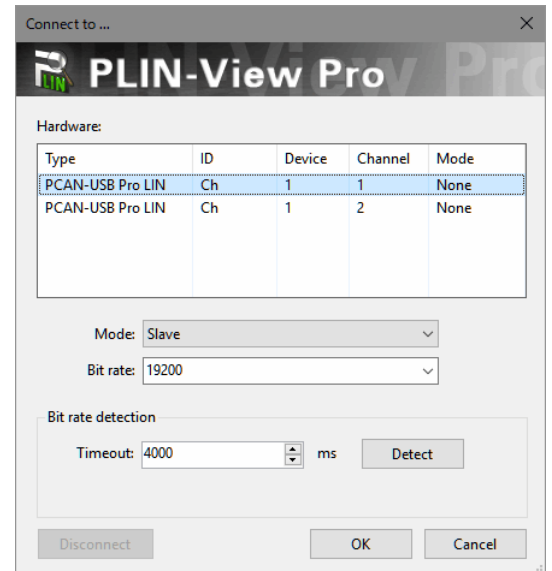


図 3-3

## 4. LIN フレームの受信

LIN フレームは、Receive/Transmit タブの Receive リストで参照することができます。

Master モードでは、Receive リストと Transmit リストが表示され、LIN メッセージをバスに送信することができます。Slave モードでは、Receive リストと Publisher リストが表示されます。

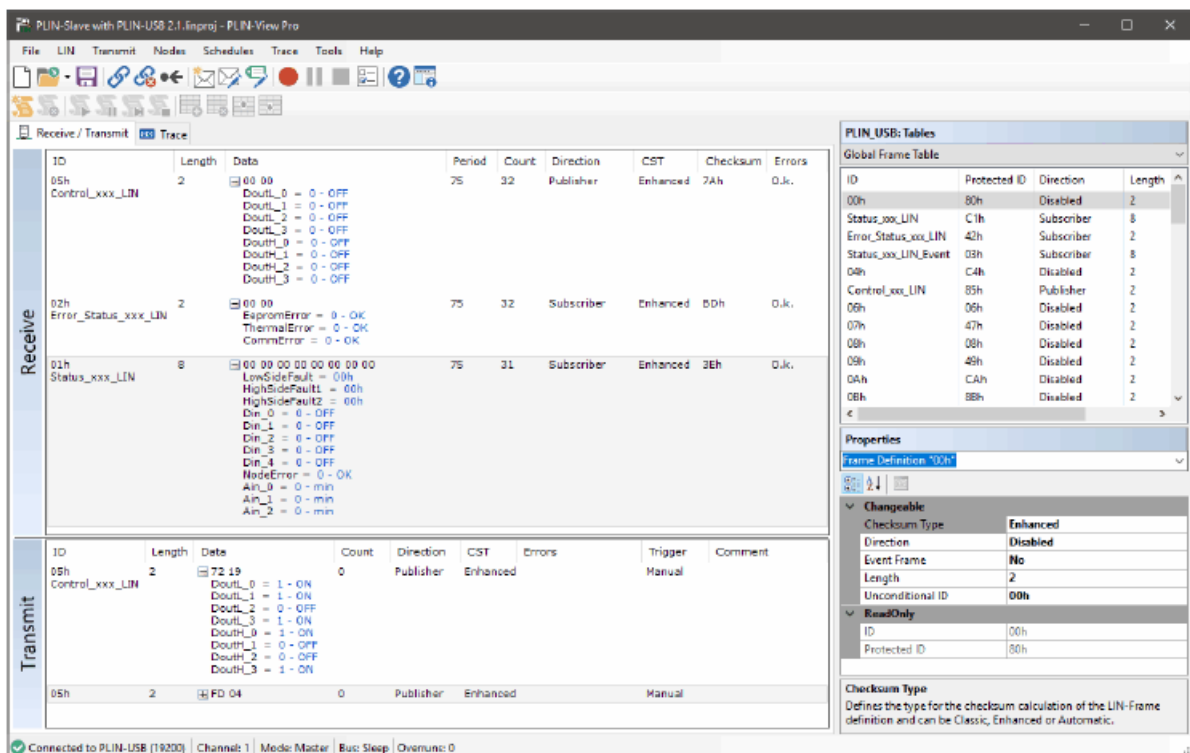


図 4-1

Master モードでは、Schedules メニューでスケジュールテーブルの有効化・管理ができます。また、LDF ファイルをロード (File > Open) すれば、シンボリックフォームでデータを表示することができます。

## 5. LIN フレームの送信

LIN フレームの送信手順を下記に示します。

- 1) **Global Frame Table** からフレームを選択します。  
(図 5-1 ① 参照)
- 2) **Checksum Type** を **Enhanced** か **Classic** に変更します。  
(図 5-1 ② 参照)
- 3) **Direction** を **Publisher** に変更します。  
(図 5-1 ③ 参照)
- 4) メニューコマンド **Transmit > New Frame** を選択します。  
(図 5-2 参照、Slave モードの場合、**Publish > New Frame**)

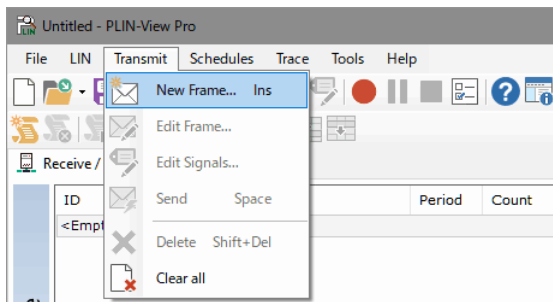


図 5-2

**New Frame** ダイアログボックスが表示されます (図 5-3 参照)

- 5) **ID (Hex)** から、送信するフレームを選択します (図 5-3 ① 参照)。
- 6) **Length** からデータ長を選択します (図 5-3 ② 参照)。
- 7) **Data** を入力します (図 5-3 ③ 参照)。
- 8) **OK** を押します。
- 9) メニューコマンド **Transmit > Send** を選択します (図 5-4 参照)。  
(スペースバー押下でも可能)

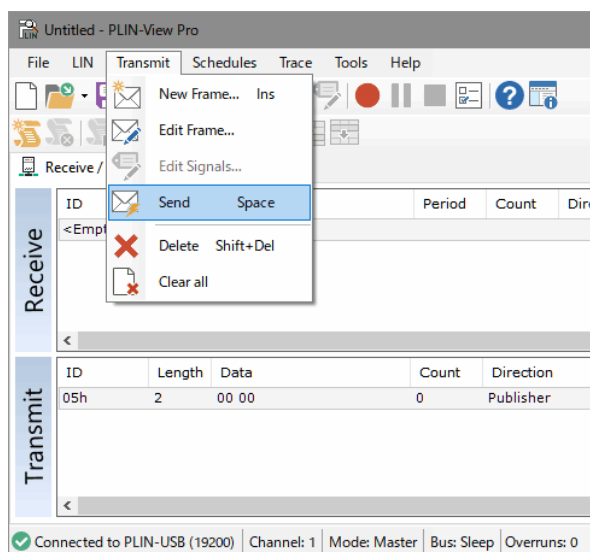


図 5-4

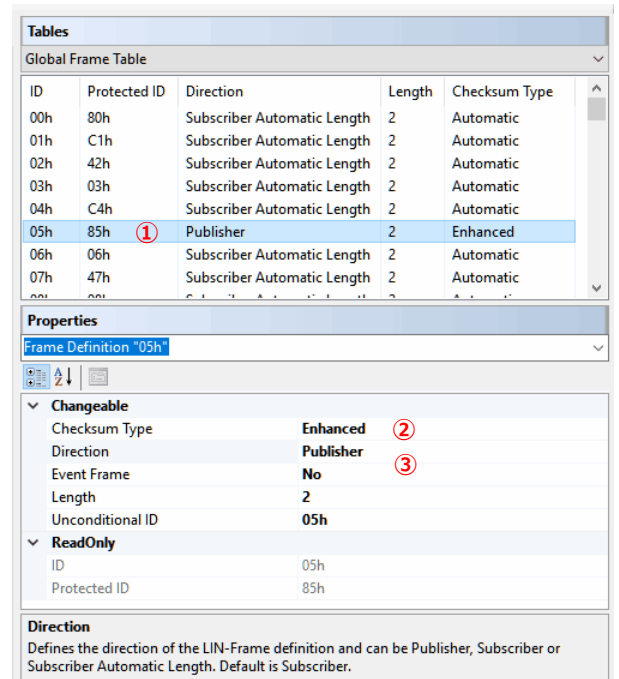


図 5-1

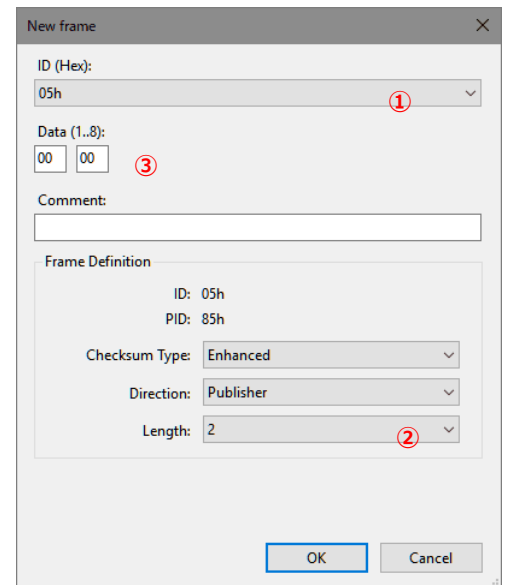


図 5-3

## 6. トレース

Trace タブで、LIN バス通信を時系列に記録・参照することができます。Start ボタン (●) を押すと、「名前を付けて保存」ダイアログボックスが表示されます。必要に応じてフォルダを設定し、ファイル名 (\*.ltrc) を入力します。記録を停止するには、Stop ボタン (■) を押します。LTRC ファイルはテキストベースなので、テキストエディタで参照可能です。

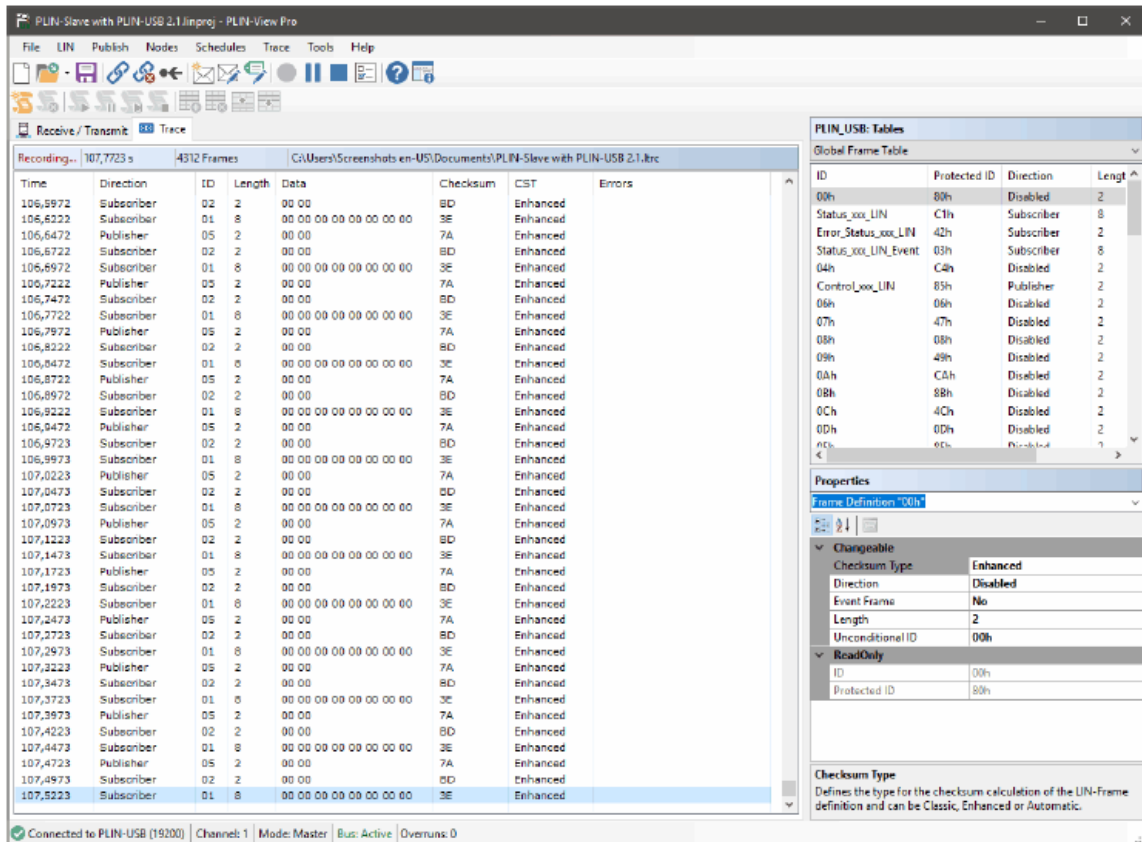


図 6-1

トレースファイルの最大サイズは、Tools > Options で決定されます。

図 6-2 の場合 (Endless Recording が No で、Maximum File Size が 4 GB)、停止ボタンを押さなくても、TRC ファイルが 4GB になると記録は停止します。

### View Buffer Size

20000 / 50000 / 100000 Frames から選択。

Trace タブで表示される LIN フレーム数。トレースには影響なし。

### Maximum File Size

1 / 5 / 10 / 25 / 50 / 100 / 250 / 500 MB, 1 / 2 / 4 GB から選択。

トレースファイルの最大サイズ。Endless Recording が No のときにこの設定サイズに到達するとトレースを停止。

### Endless Recording

No / Yes から選択。

No : Maximum File Size に到達すると、自動的にトレース停止。

Yes : Maximum File Size に到達すると、新たなトレースファイルで記録スペースがなくなるまで記録が続きます。

例. Test.ltrc → Test\_2.ltrc → Test\_3.ltrc

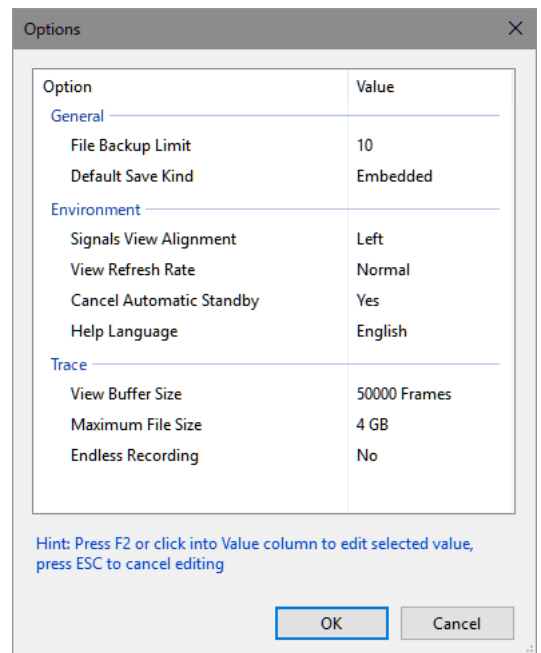


図 6-2

## 7. ステータスバー

ステータスバーには、接続された LIN ハードウェア、LIN チャンネル、モード、LIN バスステータス (Active/Sleep、PLIN-USB の場合 Hardware: VBat missing 等)、Overruns についての情報が示されます。

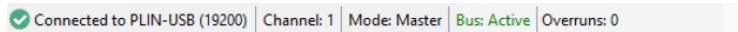



図 7-1

## 8. メニューコマンド

表 8-1 メニューコマンド 1/2

コマンド	ボタン	内容	ショートカット
<b>File メニュー</b>			
New		新規の PLIN プロジェクト (*.linproj) を作成します。	Ctrl + N
Open		PLIN プロジェクト (*.linproj)、PLIN フレームファイル (*.lin)、LIN 記述ファイル (*.ldf) を開きます。LDF を開く場合、Select Node ダイアログボックスが開きます。	Ctrl + O
Save		現在の PLIN プロジェクト (*.linproj) を開くか、または Save As ダイアログボックスが開きます。	Ctrl + S
Save As		PLIN プロジェクト (*.linproj) または PLIN フレームファイル (*.lin) を保存します。	F12
Recent Files	–	以前使用したファイルを開くことができます。	–
Exit		PLIN-View Pro を終了します。	–
<b>LIN メニュー</b>			
Connect		プログラム (クライアント) を LIN ハードウェアに接続するために、Connect to ダイアログボックスを開きます。	Ctrl + C
Disconnect		プログラム (クライアント) の LIN ハードウェアへの現在の接続を閉じます。	–
Reset		LIN コントローラをリセット、Receive リストをクリア e、Transmit または Publish リストのフレームカウンターをリセットします。	–
Wake up (LIN Slave 時のみ)	–	LIN バスをウェイクアップするために LIN コマンドを送信します。	–
Go to sleep (LIN Master 時のみ)	–	通信が一時的に停止されたことを、LIN コマンドを介して LIN バスのノードに伝えます。	–
Change Hardware ID	–	現在の LIN チャンネルのハードウェア番号を設定するために Change Hardware ID ダイアログボックスを開きます。	–
<b>Publish/Transmit メニュー</b>			
New Frame		Publisher/Transmit リストで新規の LIN フレームを追加するために New frame ダイアログボックスを開きます。	Ins
Edit Frame		Publisher/Transmit リストから LIN フレームのパラメータを編集するために Edit frame ダイアログボックスを開きます。	
Edit Signals		Publisher/Transmit リストから LIN フレームのシグナルを編集するために Edit Signals ダイアログボックスを開きます。LDF ファイルのロード後に有効になります。	
Send		Publisher/Transmit リストから選択されたフレームを送信または更新します。	Space
Delete		Publisher/Transmit リストから選択されたフレームを削除します。	Del
Clear all		Publisher/Transmit リストからすべての LIN フレームを削除します。	–
<b>Nodes メニュー</b>			
このメニューは、LDF または PLIN プロジェクトが開かれたときのみ表示されます。ロードされた LDF で定義されたすべてのノードが含まれます。さらに、LIN バスを単純にモニターするため <b>All: Listen Only</b> エントリも含まれます。エントリを選択することによって、相当するノードがアクティブになります。			

表 8-2 メニューコマンド 2/2

コマンド	ボタン	内容	ショートカット
<b>Schedules</b> メニュー (LIN Master 時のみ有効)			
New Table		新規スケジュールテーブルを作成します。	Ctrl + Shift + N
Clone Table		選択されたスケジュールテーブルを複製します。	Ctrl + Shift + C
Delete Table		選択されたスケジュールテーブルを削除します。	Ctrl + Shift + D
Delete all Tables		すべてのスケジュールテーブルを削除します。	—
Start		接続された LIN ハードウェア上でスケジュールテーブルを開始します。	F5
Pause		接続された LIN ハードウェア上でスケジュールテーブルを一旦停止します。	Ctrl + F5
Single Step		接続された LIN ハードウェア上でスケジュールテーブルをシングルステップを実行します。	F10
Stop		接続されたスケジュールテーブルを停止し、接続されたハードウェアから削除します。	Shift + F5
Stop Current		LIN ハードウェア上で動作するスケジュールテーブルを停止します。	Ctrl + F2
Add Entry		現在のスケジュールテーブルにエントリを追加します。	Ctrl + Shift + Ins
Delete Entry		現在のスケジュールテーブルから選択されたエントリを削除します。	Ctrl + Shift + Del
Delete all Entries		現在のスケジュールテーブルからすべてのエントリを削除します。	—
Move up		現在のスケジュールテーブル内で選択されたエントリを上に移動します。	Ctrl + Shift + Up
Move down		現在のスケジュールテーブル内で選択されたエントリを下に移動します。	Ctrl + Shift + Down
Move to Table		現在のスケジュールテーブルから選択されたエントリを他に移動します。	—
Copy to Table		現在のスケジュールテーブルから選択されたエントリを他にコピーします。	—
<b>Trace</b> メニュー			
Start		LIN フレームの記録を開始します。	Ctrl + T
Pause		LIN フレームの記録を一旦停止します。	—
Stop		LIN フレームの記録を終了します。	Ctrl + Alt + T
<b>Tools</b> メニュー			
Reset Global Frame Table	—	Global Frame Table のすべてのフレーム定義のプロパティをリセットします。	—
Restore loaded LDF	—	Global Frame Table と LDF のスケジュールテーブルのデータをリストアします。	—
Options		設定を変更するために、Options ダイアログボックスを開きます。	Ctrl + Shift + F11
<b>Help</b> メニュー			
PLIN-View Help		ヘルプを開きます。	
About		バージョン情報等を表示します。	

## 付録 A. インストール手順

PLIN-View Pro には、Microsoft .NET Framework 4 以上が必要になります。インストールされていない場合は、PLIN-View Pro のインストールの前に、Microsoft .NET Framework 4 以上をインストールしてください。

下記の URL より LIN ドライバ、PLIN-View Pro をダウンロード

<https://www.peak-system.com/quick/DrvSetup>

PEAK-System\_Driver-Setup.zip を解凍し、PeakOemDrv.exe を実行

Welcome to the PEAK-Drivers... の画面が表示されます  
(図 A-4 参照)。

**Next >** を押します。



図 A-4

End-User License Agreement の画面が表示されます  
(図 A-5 参照)。

ライセンスアグリーメントを読み、よろしければ、  
**I accept the terms in the License Agreement** を選択し、  
**Next >** を押します。

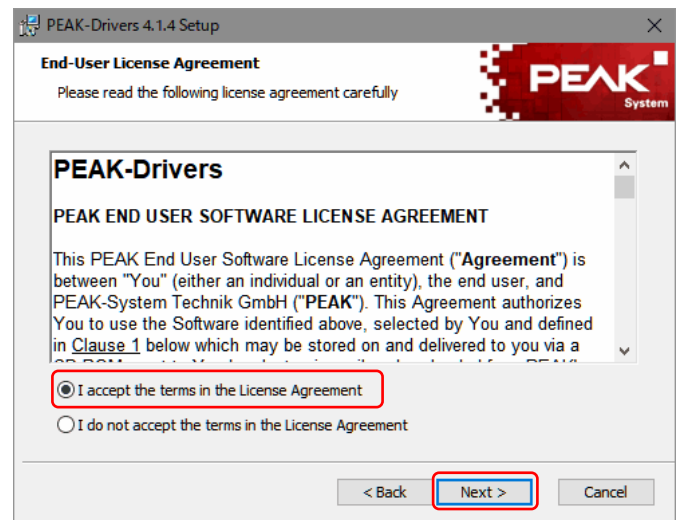


図 A-5



Custom Setup の画面が表示されます (図 A-6 参照)。

CAN が不要な場合、  
CAN device drivers の左側のドロップダウンリストから、  
**Entire feature will be unavailable** を選択します。  
(図 A-7 を参考にしてください)

CAN が必要な場合は、何もせず、次へ進みます。

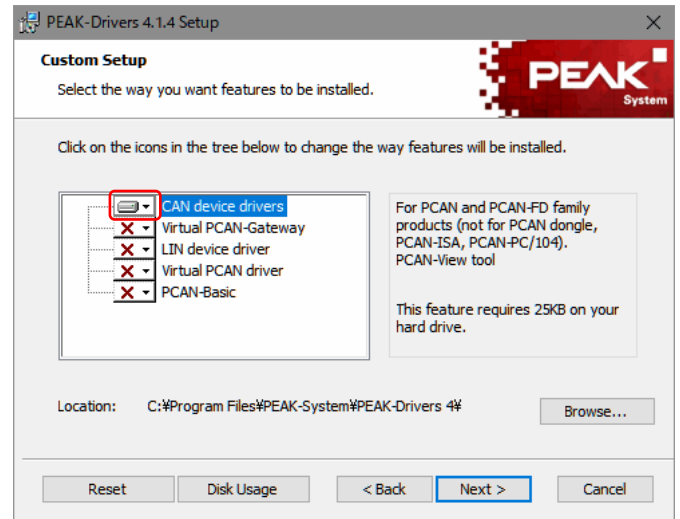


図 A-6

LIN device driver の左側のドロップダウンリストから、  
**Entire feature will be installed on local hard drive** を選択  
します (図 A-7 参照)。

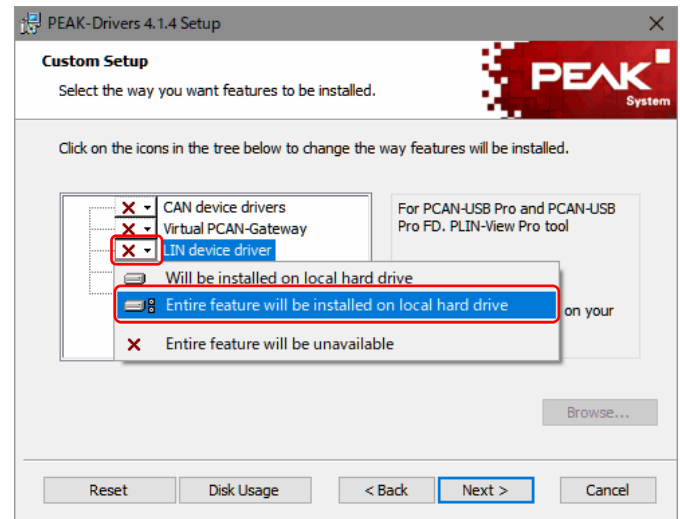


図 A-7

図 A-8 の状態で、**Next >** を押します。

#### <備考>

この設定によって、LIN ドライバと PLIN-View Pro が  
インストールされます。

PLIN-USB の場合は、LIN だけなので図 A-8 のとおりに  
設定します。

PCAN-USB Pro FD の場合に CAN も同時にインストール  
する際は、CAN 関連で必要なものを有効にします。  
その際には、最低 CAN device drivers が必要です。

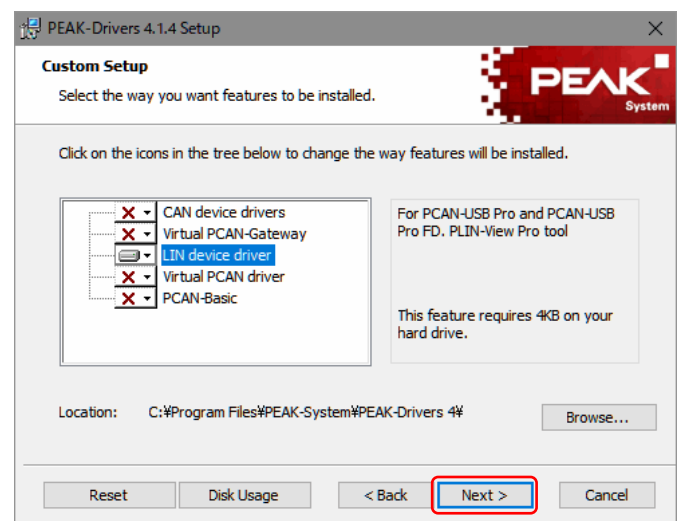


図 A-8

Ready to Install の画面が表示されます (図 A-9 参照)。

**Install** を押します。

インストールが開始されます。

(図 A-3 の画面は、Exit で終了します。)

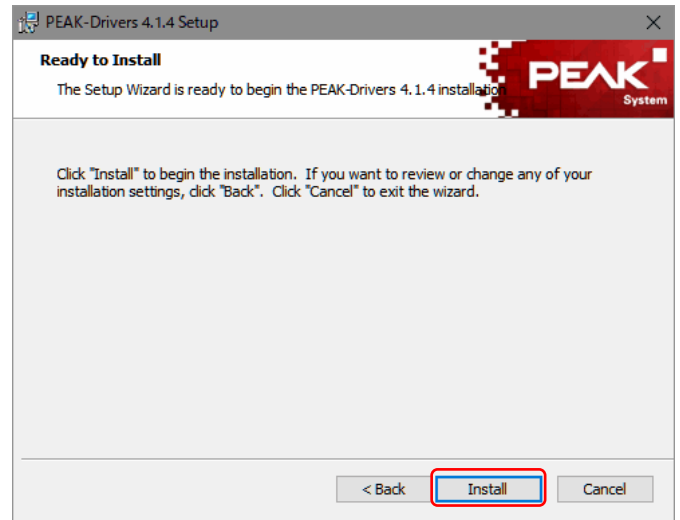


図 A-9

Completing the PEAK-Drivers... の画面が表示されます (図 A-10 参照)。

**Finish** を押します。

インストールは終了です。

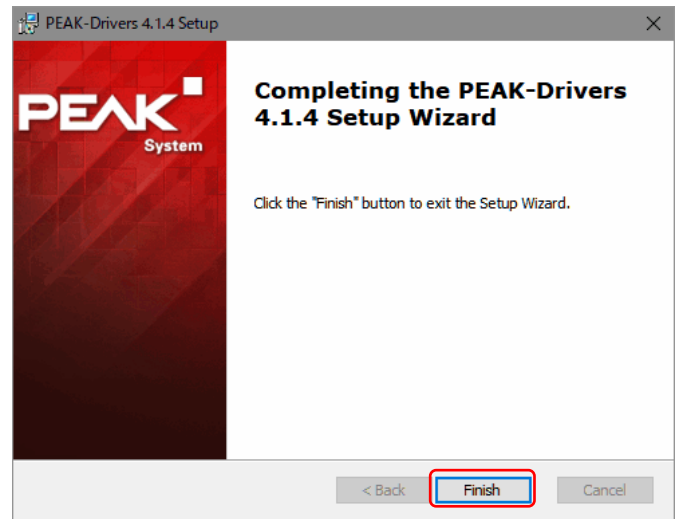


図 A-10

[PEAK-System Tools] - [PLIN-View Pro] で起動します (図 A-11 参照)。

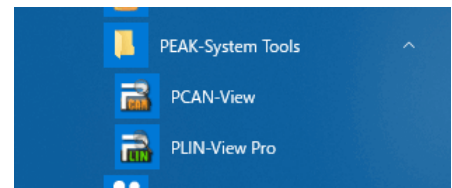


図 A-11

## 付録 B. PLIN-API (Windows ソフトウェア開発)

LIN バスに接続して Windows アプリケーション・ソフトウェアを開発するためのファイル (PLIN-API、サンプル等) が下記の URL からダウンロードできます。詳細は、ドキュメントとヘッダーファイルを参照してください。

<https://www.peak-system.com/fileadmin/media/files/plin-api>

## 付録 C. USB インターフェイスの取り外し

LIN ハードウェア (PLIN-USB、PCAN-USB Pro FD) は、Windows 環境下での「ハードウェアの安全な取り外し」を実行する必要はありません。そのまま LIN ハードウェアの USB ケーブルを PC から外して構いません。

## 付録 D. ステータス LED

PLIN-USB のステータス LED は以下のとおりです。

表 D-1 PCAN-USB LED ステータス

LED	内容
緑 点灯	ドライバに接続されています。
緑 点滅 (遅)	LIN インターフェイスが初期化されており、PLIN-View Pro に接続されています。
緑 点滅 (早)	データが送受信されています。

PLIN-USB Pro FD のステータス LED は以下のとおりです。

表 D-2 PCAN-USB Pro FD LED ステータス

	LED	内容
USB	緑 点灯	High-speed USB (USB 2.0) 接続が確立されています。
	緑 点滅	High-speed USB (USB 2.0) で通信されています。
	橙 点灯	Full-speed USB (USB 1.1) 接続が確立されています。
		PCAN-USB Pro FD がサスペンドモードです (例. PC がスタンバイモードで USB ケーブルによる電源供給のみ)。
	橙 点滅	Full-speed USB (USB 2.0) で通信されています。
CAN1/2	緑 点灯	CAN が初期化され、ドライバに接続されています。
	緑 点滅 (遅)	アプリが CAN インターフェイスに接続されています。
	緑 点滅 (早)	データが送受信されています。
	赤 点滅 (早)	CAN でエラーが発生しています (例. OVERRUN, BUSHEAVY)。
LIN1/2	緑 点灯	ドライバに接続されています。
	緑 点滅 (遅)	LIN インターフェイスが初期化されており、PLIN-View Pro に接続されています。
	緑 点滅 (早)	データが送受信されています。

以 上